



平成 26 年 8 月 13 日

各 位

ドリームバイザー・ホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 千野 和 俊  
 (コード番号:3772 東証マザーズ)  
 問合せ先 管理本部 グループ長 木村 健太郎  
 (電話番号 03-6661-9311)

## 平成 27 年 3 月期にかかる連結業績予想の修正に関するお知らせ

直近の連結業績の動向並びに今後の見通しを踏まえ、当社は、本日開催の当社取締役会において、平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間及び平成 27 年 3 月期通期の連結業績予想を修正することを決議致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

### 記

#### 1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日) (連結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	683	92	70	70	16.92
今回発表予想 (B)	746	122	93	71	17.17
増減額 (B-A)	63	30	23	1	—
増減率 (%)	9.2	32.6	32.9	1.4	—
(ご参考) 前期実績 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間	297	△78	△84	△85	△37.54

- (注) 1. ウェルス・マネジメント株式会社及びグローバル インベストメント マネジメント株式会社については、平成 25 年 7 月より連結の範囲に含めたことから、平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間は 3 か月間 (平成 25 年 7 月から平成 25 年 9 月まで) の損益を取り込んでおります。
2. 「1 株当たり当期純利益」の算出にあたり、「前回発表予想 (A)」「今回発表予想 (B)」いずれも、4,136,100 株を期中平均株式数として用いております。なお、当社は、平成 26 年 2 月 7 日付の当社取締役会決議に基づき、当社は、平成 26 年 4 月 1 日を効力発生日として、当社普通株式 1 株につき 100 株の割合をもって株式分割を行っております。「(ご参考) 前期実績平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間」の「1 株当たり当期純利益」につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出してしております。

#### 2. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日) (連結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,349	180	136	103	24.90
今回発表予想 (B)	1,478	228	160	111	26.84
増減額 (B-A)	129	48	24	8	—
増減率 (%)	9.6	26.7	17.6	7.8	—
(ご参考) 前期実績 平成 26 年 3 月期	837	21	14	22	7.07

- (注) 1. ウェルス・マネジメント株式会社及びグローバル インベストメント マネジメント株式会社については、平成 25 年 7 月より連結の範囲に含めた事から、平成 26 年 3 月期通期は 9 か月間 (平成 25 年 7 月から平成 26 年 3 月まで) の損益を取り込んでおります。
2. 「1 株当たり当期純利益」の算出にあたり、「前回発表予想 (A)」「今回発表予想 (B)」ともに 4,136,100 株を期中平均株式数として用いております。なお、当社は、平成 26 年 2 月 7 日付の当社取締役会決議に基づき、当社は、平成 26 年 4 月 1 日を効力発生日として、当社普通株式 1 株につき 100 株の割合をもって株式分割を行っております。「(ご参考) 前期実績平成 26 年 3 月期」の「1 株当たり当期純利益」につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し算出しております。

### 3. 修正理由

第 2 四半期連結累計期間の業績予想につきましては、計画している不動産案件等の一部が下半期にずれこむ可能性がある一方で、平成 26 年 7 月 17 日付にて開示しておりますとおり受託案件の合意終了によるアセット マネジメント報酬の一括受領及び物件売却にかかる手数料の売上が見込めることとなりましたので、売上高の上方修正を行います。また、利益面につきましては、売上の増加に伴い、売上原価並びに社内体制の強化を図るための人件費の増加等が予想されますが、その経費の増加を上回る売上高の増額が見込めることから、営業利益、経常利益、当期純利益を上方に修正するものであります。

また、通期連結業績予想につきましても相当の売上の増加が見込まれますので、売上高及び営業利益、経常利益、当期純利益を上方に修正するものであります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上